



平成30年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年5月11日

上場会社名 株式会社C&Gシステムズ 上場取引所 東  
 コード番号 6633 URL http://www.cgsys.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)塩田 聖一  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理統括部長 (氏名)小島 利幸 (TEL) 03(6864)0777  
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績(平成30年1月1日~平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	1,032	5.4	91	△1.5	92	△12.5	42	△30.3
29年12月期第1四半期	979	△11.3	93	△16.0	105	△14.3	60	△19.7

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 28百万円(△44.7%) 29年12月期第1四半期 51百万円(△13.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	4.33	—
29年12月期第1四半期	6.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第1四半期	4,760	2,619	54.5
29年12月期	4,814	2,735	55.9

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 2,596百万円 29年12月期 2,691百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	13.00	13.00
30年12月期	—	—	—	—	—
30年12月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日~平成30年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,088	0.1	201	△13.6	227	△11.7	97	△32.3	9.93
通期	4,158	1.9	373	13.5	407	9.0	172	△65.8	17.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) ー、除外 一社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年12月期1Q	9,801,549株	29年12月期	9,801,549株
30年12月期1Q	182株	29年12月期	182株
30年12月期1Q	9,801,367株	29年12月期1Q	9,801,367株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の摘要	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### 当第1四半期連結累計期間の経営成績

当社グループは当第1四半期連結累計期間において、CAD/CAMシステム等事業では、前期に引き続き主力製品であるCAD/CAMシステムの販売を推進し、既存顧客に対するサポート体制の強化による保守収益の向上を目指し事業活動を継続しました。また製品開発では、金型用3次元CAMシステム「CAM-TOOL」の定期的なバージョンアップ開発（4月リリース）など既存製品の機能強化に取り組んだほか、IoT関連の製品として販売している当社独自の金型用工程管理ソリューション「AIQ」の最新バージョン（6月リリース予定）に向けて開発に取り組みました。加えて当社CAD/CAMシステムの他社へのOEM提供およびその他新規事業については、新たな収益の柱とすべく複数の案件について継続して研究開発を進めました。一方金型製造事業では、北米での自動車生産を中心とするニーズに一服感が見られる中、新たな顧客開拓を目指し下期以降の売上につなげるための受注活動を行ってきました。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、売上高10億32百万円（前年同四半期比5.4%増）、営業利益91百万円（前年同四半期比1.5%減）、経常利益92百万円（前年同四半期比12.5%減）となりました。また親会社株主に帰属する四半期純利益は上記に加え、役員退職慰労金を計上したことに伴い42百万円（前年同四半期比30.3%減）となりました。

#### 事業セグメント別の概況

事業セグメント別では、CAD/CAMシステム等事業の売上高は9億18百万円（前年同四半期比1.9%増）、セグメント利益は93百万円（前年同四半期比3.2%減）となりました。

国内の事業環境は、前年度から引き続き生産設備への投資が主に工作機械に振り向けられる傾向にありました。また製造業向け政府補助金の執行時期が先に控えているため、金型メーカーの設備投資姿勢に様子見の傾向が見られました。

そのような中、自動車産業の集積地である中・西日本においては売上が堅調に推移、加えて当第1四半期はOEMによる開発売上および一部既存OEM先へのライセンス売上が伸長いたしました。また保守売上においても、製品バージョンアップおよび技術サポートの定期的な提供等、地域密着型の保守サービスがユーザからの高い評価を得ていることから、高い保守更新率を維持、収益に貢献し、前年同四半期比で増収となりましたが、利益面では先行投資としての開発外注費の増加等により前年同四半期比で若干の減益となりました。今後、工作機械納入時期および政府補助金執行時期の到来により、収益が拡大するものと見込んでおります。また海外では、インドネシア・タイ等の地域で前年同四半期と比較して売上が堅調に推移、また韓国においては、NCデータ出力の自動化を推進するオプション製品「CAM-TOOL ES」の提案等、積極的な営業を展開したことなどから収益の回復が見られました。

金型製造事業の売上高は1億14百万円（前年同四半期比46.0%増）、セグメント損失は1百万円（前年同四半期は2百万円の損失）となりました。低調に推移した前年同四半期との比較では売上高、セグメント損失ともに改善し増収増益となりましたが、原材料費の上昇が利益を圧迫し、若干の赤字で推移いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して53百万円減少し、47億60百万円となりました。主な増加要因は受取手形及び売掛金90百万円、主な減少要因は現金及び預金1億90百万円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して61百万円増加し、21億40百万円となりました。主な増加要因は買掛金45百万円および賞与引当金41百万円、主な減少要因は未払法人税等58百万円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して1億15百万円減少し、26億19百万円となりました。主な増加要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加42百万円、主な減少要因は非支配株主持分19百万円および配当金の支払いによる利益剰余金の減少1億27百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期の連結業績予想につきましては、平成30年2月9日付「平成29年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,241,417	2,051,143
受取手形及び売掛金	672,482	763,371
たな卸資産	52,516	49,133
その他	161,649	171,852
貸倒引当金	△196	△147
流動資産合計	3,127,869	3,035,353
固定資産		
有形固定資産	233,426	258,250
無形固定資産	54,594	55,066
投資その他の資産		
投資有価証券	164,928	169,103
投資不動産(純額)	402,653	400,484
保険積立金	428,493	430,171
その他	411,020	418,434
貸倒引当金	△8,981	△6,581
投資その他の資産合計	1,398,114	1,411,613
固定資産合計	1,686,136	1,724,930
資産合計	4,814,005	4,760,284

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	62,508	108,103
未払法人税等	104,169	45,698
賞与引当金	-	41,852
前受金	667,299	627,257
その他	180,830	242,538
流動負債合計	1,014,808	1,065,450
固定負債		
役員退職慰労引当金	145,799	140,188
退職給付に係る負債	817,839	834,577
その他	100,357	100,269
固定負債合計	1,063,996	1,075,034
負債合計	2,078,804	2,140,485
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	125,000	125,000
利益剰余金	2,022,751	1,937,802
自己株式	△86	△86
株主資本合計	2,647,664	2,562,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,195	31,766
為替換算調整勘定	15,027	1,872
その他の包括利益累計額合計	44,223	33,638
非支配株主持分	43,312	23,443
純資産合計	2,735,200	2,619,798
負債純資産合計	4,814,005	4,760,284

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	979,324	1,032,547
売上原価	360,152	417,125
売上総利益	619,171	615,421
販売費及び一般管理費	525,898	523,572
営業利益	93,273	91,848
営業外収益		
受取利息及び配当金	262	253
不動産賃貸料	21,765	21,758
貸倒引当金戻入額	4,286	2,448
その他	3,080	397
営業外収益合計	29,394	24,857
営業外費用		
支払利息	50	41
不動産賃貸費用	17,430	17,286
その他	9	7,350
営業外費用合計	17,491	24,678
経常利益	105,176	92,027
特別損失		
役員退職慰労金	—	15,600
特別損失合計	—	15,600
税金等調整前四半期純利益	105,176	76,427
法人税、住民税及び事業税	68,115	45,610
法人税等調整額	△23,260	△11,877
法人税等合計	44,855	33,733
四半期純利益	60,321	42,694
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△615	225
親会社株主に帰属する四半期純利益	60,936	42,468

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	60,321	42,694
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,741	2,571
為替換算調整勘定	△11,117	△16,514
その他の包括利益合計	△8,375	△13,943
四半期包括利益	51,945	28,750
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,046	31,884
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,100	△3,133

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	CAD/CAM システム等事業	金型製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	901,247	78,076	979,324	—	979,324
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	901,247	78,076	979,324	—	979,324
セグメント利益又は損失(△)	96,114	△2,841	93,273	—	93,273

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	CAD/CAM システム等事業	金型製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	918,535	114,011	1,032,547	—	1,032,547
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	918,535	114,011	1,032,547	—	1,032,547
セグメント利益又は損失(△)	93,073	△1,224	91,848	—	91,848